

# 東日本大震災被災文化財建造物復旧支援事業（文化財ドクター派遣事業） 国登録有形文化財建造物「坂田医院旧診療所」調査報告概要

日本工業大学大学院工学研究科建築学専攻教授 黒津高行  
熊谷市教育委員会社会教育課文化財保護係 山下祐樹

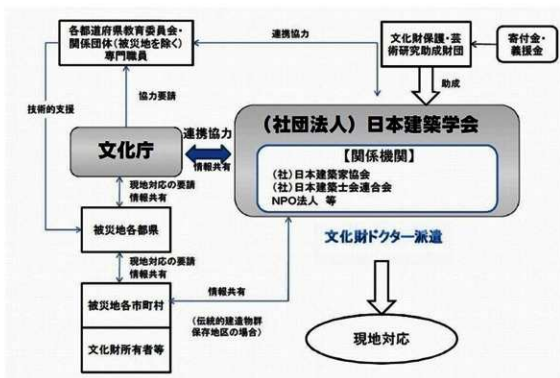
- 1 日時 平成23年(2011)5月27日(金)午後3時～
- 2 場所 国登録有形文化財建造物「坂田医院旧診療所」
- 3 調査者 日本工業大学大学院工学研究科建築学専攻教授 黒津高行  
熊谷市教育委員会社会教育課文化財保護係 山下祐樹

## 4 調査の概要

現在、東日本大震災によって被害を受けた県を中心に、文化財建造物への被害状況を把握し今後の修復に生かすための「東日本大震災被災文化財建造物復旧支援事業（文化財ドクター派遣事業）」が実施されている。今回、熊谷の建造物におけるこの事業に基づいた調査には、日本工業大学の黒津高行教授と、黒津研究室博士課程の島海さやか氏を中心とした研究グループが担当するとの連絡が県からあり、日程調整を経て当日の調査に至った。

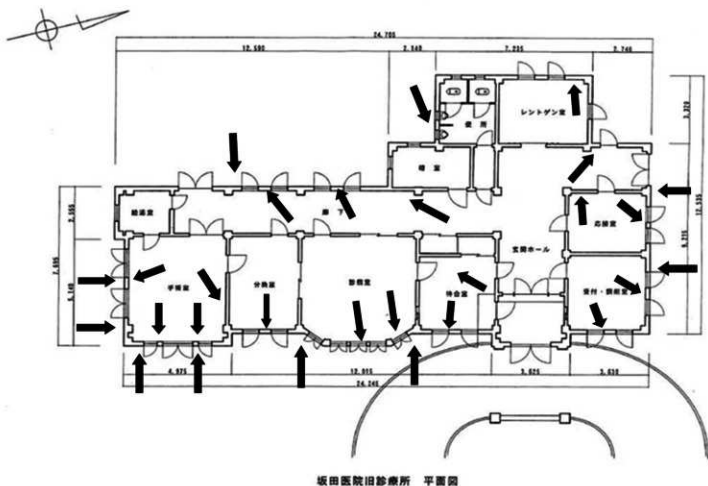
今回の調査対象の内、黒津教授が担当した、国登録有形文化財建造物「坂田医院旧診療所」、県指定有形文化財建造物「龍泉寺・観音堂」（妻沼・善ヶ島）、市指定有形文化財建造物「四脚門」（妻沼歓喜院）、国登録有形文化財建造物「日本聖公会熊谷聖パウロ教会礼拝堂・門」の調査に同行した。なお、本調査の結果については、日本建築学会から文化庁に対して、毀損の有無などの報告がなされ、全国的なデータ集成を行うことが予定されている。

今回の調査によって、上記の「龍泉寺・観音堂」、「四脚門」、「日本聖公会熊谷聖パウロ教会礼拝堂・門」における本震災に関連した被害は確認されなかったが、「坂田医院旧診療所」における毀損状況が確認されたことから、このことを本報告の主題とした。



文化財ドクター派遣事業のイメージ図 (資料：文化庁)

国登録有形文化財「坂田医院旧診療所」における毀損状況（震災前後を含めて）



坂田医院旧診療所 平面図

毀損箇所 →

毀損被害等の概要（震災前後を含めて）黒津・山下所見

受付・調剤室

東・北側における窓枠同士の狭間に亀裂が生じている。地震によりその亀裂が増幅した可能性がある。

応接室

窓枠と壁面の繋ぎ目に隙間と亀裂が生じている。地震によりその増幅が生じた可能性がある。床パネルの一部が破損している。

玄関ホール

内壁の隅や角周辺に小さい亀裂がある。床の弱体化や欠損が生じている。

待合室

木床の一部が欠損している。東側壁面の一部に亀裂が生じている。

#### 廊下

木床の一部が欠損している。西側壁面の窓枠下に数箇所亀裂が生じている。

#### レントゲン室

部屋上部において縦に沿った小さい亀裂が生じている。

#### 暗室・便所

木製部材の疲弊、タイルの一部剥落などが生じている。

#### 診察室

東側窓枠と壁面との接合部に若干の隙間と亀裂が生じている。室内上部における壁において、白色のカルシウムないし石灰質成分の表出が見られる。

#### 分娩室

東側窓枠付近に小さな亀裂が生じている。

#### 手術室

東側の窓枠と窓枠の間に縦の亀裂が生じている。これは震災前から生じていた亀裂であるが、震災により亀裂の程度が悪化しているように思われる。南側窓枠周辺においても亀裂が見られる。窓枠の下に貼られたタイルの一部が欠落している。

#### 給湯室

西側の壁に若干の亀裂が生じている。

#### 車寄せ（建物正面入口）

軽微なタイルの破損の他は、毀損等の状況は生じていないと思われる。

#### 外観

スクラッチタイルが貼られている南・東・北側において、窓枠周辺においてタイルが外側に突出する状況が十数か所において確認された。その突出は、周辺での亀裂を伴うものであり、その亀裂は内側における壁の亀裂とほぼ同じ位置において生じている傾向が見られる。タイルとコンクリートの乖離が各所にて生じている。

モルタルないしコンクリートの打設されている西側においては、風雨がそのまま表面に晒されることから一部の脆弱化や、金属部材との接触部分におけるさびの流出が見られる。また、屋上へ通じる階段の老朽化が見られる。

蛇腹（コーニス）における装飾において、かつては花柄などを模したレリーフが嵌め込まれていたが、現在は欠落している状態である。

#### 屋上

屋上においては雨漏りを防ぐために繊維強化プラスチック製のシートによって、屋根部の全体が覆われている。雨水は、四隅における吸入口や、車寄せの屋根部への接続口に流れ込み、建物側面の樋を経過し、地面に流れている。なお、シートの一部に、破損部や無接着の箇所があり、そこから雨水が建物へ流入している可能性が高い。

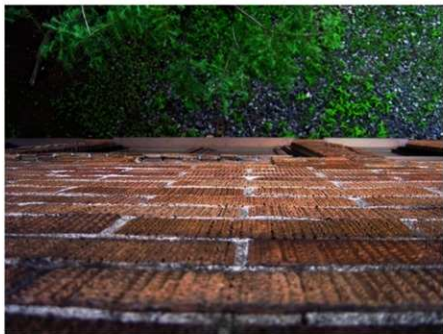
現場画像



タイルの剥落



内壁における亀裂



外壁における歪み



屋上部シートの剥がれ

(報告：平成 23 年 (2011) 7 月 1 日)